

福島市公共施設の 戦略的再編整備検討委員会

【第2回会議】

と き 平成30年 7月 2日(月)

ところ 福島市役所4階 庁議室

1 第1回検討委員会の振り返り

(1) 公共施設等総合管理計画の視点から

限られた財源の中で、よりよい行政サービスを提供し続けていくためには、既存の老朽公共施設をすべて更新建替えることは困難

➡ 保有する施設を「市全体」として捉える

(人口動向、ニーズ、立地状況、類似施設の状況、広域連携の視点を踏まえ、機能の複合化(集約)や転換を検討)

➡ 「必要な機能の選択」、「優先順位づけ」の検討

(2) 中心市街地活性化の視点から

公共施設の機能強化により、賑わいの創出や交流人口の拡大、市民の利便性向上を図る

➡ 強化すべき機能、統合・複合化すべき機能はあるか、その機能はどこにあるべきかの検討

(3) 第1回検討委員会における主なご意見

①全体について

- 福島市で生きること、生活すること、暮らすことの価値とは何か、という大きなビジョンが必要
- 箱物ではなく、生活の改善の話として捉えるべき
- 福島市の立地優位性(高速道路、鉄道等)を活かすべき
- 人口減少を交流人口拡大によって補う必要性
- 文化活動による経済効果も重要
- 駅前活性化のみならず、高齢化社会へも配慮し、文化的な面も考慮すべき

②機能について

- 少子高齢化を踏まえ、元気で健康な人が集える施設が必要
- 立派な箱物は不要。機能で人を集める仕掛けをつくるべき
- 規模、機能の内容については、利用者や市民の意見を広く取り入れるべき
- 図書館も重要な施設である。再編のなかでしっかりと議論するべき

③手法について

- さまざまな合築を検討し、複合化のメリット（機能性、財政負担など）を活かすべき
- 行政と民間（市民）の協力、役割分担のあり方を検討すべき（施設面と運営面）
- 他自治体の施設の状況も考慮すべき
- 広域的な視点で、他自治体や県などとの役割分担を考えるべき
- 民間再開発の動きがあるならば、しっかりとコミュニケーションを図るべき

④その他

- ハード整備後の運営(ソフト)の担い手を考える必要がある
- 車社会における交通の問題も考えるべき
- 確実なデータに基づく議論がなされるべき
- すべてを今の世代で決めない。目玉となる機能を決め、次世代に選択の余地を残すべき

2 第1回中心市街地将来ビジョン検討委員会の内容について（6月4日開催）

役 割

- ・「風格ある県都」を目指し、高次都市機能の強化の検討
- ・当委員会と連携し、まちづくりに必要な機能を面的に整理

議 題

- (1) 福島市中心市街地将来ビジョン検討委員会について
- (2) 中心市街地におけるまちづくりについて
- (3) 中心市街地の課題整理について
- (4) 今後の進め方について

3 再編整備の基本的な方向性について

①再編整備のコンセプトについて

◆委員からのご意見

- 将来的な市のグランドデザインとして「福島らしさ」が必要
- 歴史や風景を含めた街並みの形成が必要
- 人・コミュニティをつくり育む場、文化を熟成・発信する場が必要
- 商業機能の維持・強化による県都として風格ある街並みの形成が必要
- 震災の経験を踏まえ、市民の生命・財産を守る安全・安心な都市機能が必要
- 街のヴィジョンとして、市民価値の向上をどのように図っていくかの議論が必要
- 詳細なデータや現状分析に基づく議論と従来の発想にとらわれない思考が必要

◆市の考え方

- 公共施設を将来にわたり持続可能な量と質への転換
- 県都として高次の都市機能を集積し、県北全域の活性化と定住交流の拠点であるとともに文化的環境と次世代環境を備えたグレードの高いまちづくりを推進

②コンベンション機能について

◆委員からのご意見

- 駅東口に県内外の人を集客するコンベンション機能を配置すべき
- 公会堂、市民会館、図書館、中央学習センターの複合化により配置すべき
- 民間活力と連携する場合、スケジュールを踏まえた判断が必要
- JRとの連携や、民間施設との連携整備を念頭に置くべき
- 県外、県内、市内の交通の拠点化による集客機能が重要
- 「福島の顔」として地域活性化の起爆剤となる目玉施設を配置すべき

②コンベンション機能について

◆市の考え方

①賑わい創出、中心市街地活性化、交流人口拡大等の視点から
駅前地区へのコンベンション機能の強化が必要

②施設機能の整備にあたっては、

・国内外の各種団体や学会等の比較的大規模な会議等の受け皿としての機能や市民利用も含めたホールとしての機能等、ニーズに合った機能整備による稼働率の向上を検討

・公会堂・市民会館が担うホール・会議室機能の再編を検討

・民間活力の活用の検討も必要

（官が全ての施設・機能整備を担うのは困難）

※駅前再開発事業について民間との意見交換も必要

③コンベンション機能施設の運営について

・官民連携などによる、効率的な管理運営方法の検討

・整備施設の効果的な活用のため、民間・商工団体等と連携した運用を検討

③公会堂について

◆委員からのご意見

- 稼働率が50%を下回っており、市民のニーズとの乖離又は利便性に課題があると考えられる
- 市民会館、図書館、中央学習センターとの集約によりコンベンション施設に複合化すべき
- 複合施設の設置を優先した上で、廃館とした跡地に市民ギャラリーや写真美術館等の文化的施設を集約した市立美術館の設置を検討

◆市の考え方

他の施設との統合・複合化による駅前地区へのコンベンション機能への再編を検討

④市民会館について

◆委員からのご意見

- 稼働率が50%を下回っており、市民のニーズとの乖離又は利便性に課題があると考えられる
- 駅前のコンベンション機能に再編すべき
- 市役所新庁舎西棟に再編すべき
- 中央学習センター、図書館、アオウゼ等を集約した新たな複合施設の設置が望ましい

◆市の考え方

- ①駅前地区へのコンベンション機能強化による再編を検討
- ②建設延期中の市役所新庁舎西棟へ再編を検討

⑤図書館本館について

◆委員からのご意見

- 駅前のコンベンション機能に再編すべき
- 駅前からある程度距離が離れるとしても、市有地に駐車スペースを確保した配置が必要
- 市民会館、中央学習センター、図書館等を集約した新たな複合施設の設置が望ましい
- 面積・収蔵能力とも現有施設以上が必要
- 中央館の機能を持ちつつ、2つの分館との棲み分けが必要

◆市の考え方

- ①他の施設との統合・複合化を検討
- ②機能配置するにあたっては、望ましい立地場所を検討

⑥中央学習センターについて

◆委員からのご意見

- 稼働率が50%を下回っており、市民のニーズとの乖離又は利便性に課題があると考えられる
- 重要な生涯教育の場であり、最優先に**現在地(市中央)**に整備すべき
- 駅前**のコンベンション機能に再編すべき
- 市民会館、図書館、アオウゼ等を**集約した新たな複合施設**の設置が望ましい

◆市の考え方

- ①他の施設との**統合・複合化**を検討
- ②機能配置するにあたっては、望ましい立地場所を検討

⑦建設延期中の市役所本庁舎西棟について

◆委員からのご意見

- 議会機能と防災機能だけでなく、市民会館機能を複合すべき
- 公文書館の機能を踏まえた「行政資料」を扱う図書館分館が必要
- 市民利用施設利用者の駐車場利用を想定した収容台数について十分な検討を

◆市の考え方

- ①市民会館が担う会議室機能の再編を検討
- ②他の老朽施設が担う機能のうち、西棟に予定する市民利用機能に統合・複合化できるものを検討

⑧福島市消防本部/福島消防署について

◆委員からのご意見

- 現庁舎は敷地も含め狭隘であるため、防災施設の充実化が極めて重要
- 市役所新庁舎西棟予定地に集約すべきではない(避難所と分離すべき)

◆市の考え方

- ①消防力適正配置等調査を踏まえ、再編整備に伴う跡地活用も含め
適地を検討
 - ・現場到着時間や、カバーする圏域を考慮
 - ・望ましい敷地条件を考慮(幹線道路沿い、大型車両の出入庫等)
 - ・他署所の将来的な配置のあり方を考慮
 - ・消防業務の広域連携を考慮
- ②必要な施設機能(通信指令機能の確保、職員体制等)を考慮

⑨中心市街地の他の公共施設について

◆市の考え方

○下記の施設については、予防保全による建物性能の維持と安全性の確保を図ることにより、長期利用が期待されることから当面は建て替えの対象外とするが、新たな公共施設の整備にあたっては、当該施設の有する機能との棲み分けが必要

【施設名称】

- ・音楽堂/働く婦人の家/勤労青少年ホーム
- ・古関裕而記念館
- ・福島テルサ
- ・産業交流プラザ
- ・こむこむ
- ・アクティブシニアセンター・アオウゼ(民間保有)

【施設機能】

- 音楽ホール・会議室・体育室
- 展示室・サロン
- ホール・会議室
- 展示室・会議室・(図書館)
- ホール・会議室・(図書館)
- 会議室・自習スペース・多目的ホール

⑩ サッカースタジアムについて

◆ 委員からのご意見

- 現在の入場者数をどう分析するか、効果、課題がある
- あづま総合運動公園の改修状況などを踏まえた検討も必要

◆ 市の考え方

- ①スポーツ文化向上、賑わい創出、交流人口拡大等への効果は期待される
- ②稼働率や採算性の観点から新規施設の整備か既存施設の改修かの検討が必要
- ③ハードのみならず、ファン拡大、観客動員数増加への取組が重要
→実施主体や運営方法、整備・運営コストに課題

⑪福島駅新東西自由通路について

◆委員からのご意見

○駅東西の活性化に資するが、事業規模が大きいため十分な調査検討が必要

◆市の考え方

①駅周辺の回遊性強化のため重要な機能

②市だけではなく、民間事業者との役割分担が必要

➡駅東口・西口の機能配置を見極めた上での検討が必要

⑫再編整備の手法・運営等について

◆委員からのご意見

(1)再編整備の手法・運営等について

- 再編整備にあたっては、施設の統合・複合化を行うべき
- 受益者である市民の思いが最大限取り入れられるべき
- 将来的に減築や改造(転用のため)をし易くする設計上の工夫が重要
- すべての整備を一気に行わず、将来世代に自由な選択・余地を残すべき
- 市民の声をどのように反映させ、運営していくかがカギ
- 再編整備による機能を十分に発揮するため、文化政策の更なる充実が必要
- 誰が担い手なのかを明確にして、機能強化、集約・複合化を検討すべき
- 今後も保有すべき施設は、機能を拡充して建て替えるべき

◆市の考え方

公共施設等総合管理計画の基本方針を踏まえるとともに、整備や運営に関して官民連携の可能性を検討

⑫再編整備の手法・運営等について

◆委員からのご意見

(2) 具体的機能・施設構成について

- 駅前複合施設には、屋外における表現空間や広場、図書館、学習センター、芸術ホールとともに、それらをつなぐエリアの結びつきが重要
- 図書館整備にあたっては、
 - ・ふれあい歴史館等との連携も視野に、郷土資料の収集・提供・保存を重視すべき
 - ・障がい者サービスや学校図書館支援を拡充できるスペース確保が必要
- 施設によっては木造(集成材・CLT含む)や鉄骨造も選択肢となる

◆市の考え方

各施設の詳細な整備や機能等の検討は、今後、個別計画や基本設計等の際に行う予定

⑫再編整備の手法・運営等について

◆委員からのご意見

(3)その他について

○少子高齢化対策は待ったなし。就労対策による人口増・活性化が重要

○東北中央自動車道開通など、道路網整備による生活環境の変化を期待

事務連絡

※ 次回の検討委員会は、

とき 8月23日(木)13:30～

ところ 市役所4階 庁議室

での開催を予定しています。

※ 本日の検討結果を踏まえ、次回は、**素案のたたき台**を事務局で整理し、ご提示いたします。

次回、その内容について、中心市街地将来ビジョン検討委員会の内容も参考としながら、改めてご意見をいただき、**素案**をとりまとめたいと存じます。